

四日市コンビナート先進化検討会設立背景等

I. 四日市コンビナート先進化検討会設立の背景

- 石油化学産業を取り巻く環境変化として、北米のシェール革命による化学品製造コストの低下、国内需要の減少の懸念、アジア系メーカーの台頭などを背景に、国際競争が激化している。また、世界的に地球環境問題に対する意識が高まり、再生可能エネルギーの利用やCO₂排出量削減が求められている。
- 併せて、国内の他企業、事業所間での競争にも直面しており、その中で、本市での事業活動の優位性を高めていくため、産業インフラの効率的な運用等の操業環境について、本市の優位性確保のための方策を検討する必要がある。更に、IoTやAIなど新技術を活用した生産オペレーションの効率化実現が急務であり、持続可能なコンビナートを目指して取り組む必要がある。

II. 四日市コンビナート先進化検討会の構成

【会長】成城大学 経済学部 経営学科 平野創 教授

経歴：成城大学経済学部 経営学科の経営史と経営学、特に石油・石油化学等の重化学工業と産業政策の歴史を専門とされ、経済産業省の総合エネルギー調査会資源・燃料分科会石油・天然ガス小委員会委員、茨城県の鹿島臨海工業地帯競争力強化推進会議の顧問、川崎市の川崎臨海部活性化推進協議会の委員などを務めている。

【委員】第1コンビナート：味の素(株)、石原産業(株)、J S R(株)、昭和四日市石油(株)、日本アエロジル(株)、(15社) 三菱ガス化学(株)、三菱ケミカル(株)、三菱マテリアル(株)

第2コンビナート：KHネオケム(株)、コスモ石油(株)、(株)J E R A

第3コンビナート：第一工業製薬(株)、D I C(株)、東ソー(株)、東邦ガス(株)

【関係行政】経済産業省中部経済産業局、中部近畿産業保安監督部
三重県（企業誘致推進課、ものづくり産業振興課）

【事務局】四日市市（商工課、環境保全課、都市計画課、消防本部予防保安課）

【開催実績】第1回：H30年8月1日、第2回：H30年12月26日、第3回：H31年3月8日、第4回：R1年6月27日
第5回：R1年12月26日、第6回：R2年8月24日、第7回：R3年3月26日

《基本目標》

1. 国際競争力の強化

- ・石油化学と石油精製との連携・統合運営の取組
- ・需要及び原料に対する柔軟性の確保
- ・用役や共通インフラ・部門の共有化等への取組

2. 新規技術の活用による安心・安全の確保

- ・IoT、ビッグデータ等新技術を用いたプラントの保守・点検の導入
- ・地域の中での操業に対する情報共有と交流

3. 有能な技能者を育成する教育

- ・地域内での横断的な人材育成の仕組みの構築の推進
- ・新技術を活用できる人材の育成

4. 地球環境負荷の軽減

- ・CO₂フリーエネルギーを用いた既存設備の活用可能性等

四日市コンビナートの先進化

四日市コンビナートが持続していくため操業環境を先進化し、本取組を他地区のコンビナートにも拡げ、最終的には国内全体のコンビナートの競争力の強化に繋げていく。